学びの速報

第６０号
発行日：令和５年２月６日（月）
発　行：山口県立下関西高等学校

～普通科の総合的な探究の時間の活動や探究科の活動、ＳＳＨ事業の取組など、下関西高の特色ある学びをお知らせします～

探究科の１年次生が、オリジナルの宇宙食を考えました。

探究科

１月１１日（水）の**基礎探究**の授業において、**国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構**（以下、「ＪＡＸＡ」という。）の相模原キャンパスと本校をオンラインで接続し、出前講義を実施しました。当日は、探究科の１年次生６３人が参加し、ＪＡＸＡ宇宙教育センター主査　**塚脇　幸太**　先生から、日本やアメリカが取り組んできた**宇宙開発の歴史**を紹介していただくとともに、**国際宇宙ステーション**（以下、「ＩＳＳ」という。）**での生活を、私たちが普段地上で過ごす生活と比較**しながら解説していただきました。日本人宇宙飛行士の皆様が登場する動画では、ＩＳＳでの食事や睡眠のとり方を学ぶことができ、**宇宙を身近に感じる**ことができました。

ＪＡＸＡが推進する惑星探査やＩＳＳでの生活について学ぶ

講義の後は、クラスごとに５つのグループを編成し、それぞれのグループのメンバーと話し合いながら、**新たな宇宙食**について考えました。最後に行った発表では、「宇宙でもサンドイッチを食べたいから、**具がバラバラになりにくいホットサンド**をつくってみたらよいのではないか」や「**タピオカサイズのお餅を入れたぜんざい**をパックに詰め、タピオカドリンクのようにストローで飲んでみたらよいのではないか」「**とろみのついた出汁をおでんの具に付け**れば、宇宙でもおでんを食べることができるのではないか」など、微小重力空間で食べるための様々な工夫を発表することができました。さらに、「国際宇宙ステーションの宇宙飛行士のみなさんで手巻きずしをつくれば、**会話も弾み、普段のコミュニケーションがよりよいものになる**のではないか」など、食事を宇宙飛行士のみなさんの環境改善につなげようとする提案もありました。

出前講義が終了した後に、生徒を対象として実施したアンケート調査には、「宇宙での生活は、地上と全く違うものと想像していたが、食べ物を袋から取り出して調味料を付けて食べるなどの工夫により、**私たちの生活に近づけようとしている**ことがわかった」や「密閉された空間で、宇宙飛行士のみなさんが気持ちよく活動するために、**においを抑えた宇宙食**をつくられていることを知り驚いた」「**自分たちが普段食べているものをどうやったら宇宙食として活用できるか**考えた。楽しかった」「短い時間で考え、発表することは大変だったが、うまくまとめることができた」等がありました。このたびは、宇宙食をテーマとして、短い時間で課題の発見と解決方法を考え発表しましたが、**探究科の２年次では、研究班に分かれて、じっくり課題研究に取り組みます。**このたびの経験を生かして、課題解決に挑戦してくれることを期待しています。

様々な宇宙食を提案する探究科の１年次生

普通科　は普通科を、　探究科　は探究科を対象としたプログラムです。

本校生徒が、英語を用いて表現する活動に挑戦しました。

普通科 探究科

グローバル人材の育成を目指す本校では、生徒一人ひとりに**課題解決の成果を英語で発表**する活動に、実践的に取組んでいます。このたびは、２年次生が授業で行った「英語によるプレゼンテーション」と１・２年次の希望者を対象とした開催した「台湾の高校生との交流」を紹介します。

２年次のすべての生徒が、ＳＤＧｓをテーマとしたプレゼンテーションに挑戦！

２学期の期末考査が終了した後から３学期の初めにかけて、２年次のすべての生徒が、それぞれのクラスで**英語によるプレゼンテーション**に挑戦しました。

普通科では**コミュニケーション英語Ⅱ**の授業において、**探究科**では**総合英語**の授業において挑戦したこのたびのプレゼンテーションは、ウェブサイトに掲載されていた**様々な国のＳＤＧｓの達成状況**をもとにして、持続可能な社会を構築するため、**私たちがどのように行動しなければならないのか**グループで考え、発表しました。それぞれのグループでは、メンバーが興味をもった国を選び、その国の取組の優れた点や、よりいっそう努力が必要な点を具体的に調べながら、日本の取組と比較し、**これから私たちが取り組まなければならないこと**を明らかにしました。それぞれのクラスで行った発表会では、**グループの考えを英語で記したスライドにまとめ、プレゼンテーション**することができました。

様々な国のＳＤＧｓの達成に向けた取組を紹介

１年次から数えると、２年次生はこれで４回目の挑戦です。発表では、それぞれのグループの考えを英語でわかりやすく伝えることはもちろん、スライドのデザインにも工夫を凝らし、**これまでの経験をしっかり生かす**ことができました。

台湾の高校生と「世界をよりよくするために高校生ができること」を考えました。

１２月１日（木）と８日（木）に実施した**台湾の高校生との交流会**に続き、１月１９日（木）に３回目の交流をオンラインで行い、普通科の１年次生５人、２年次生１人、探究科の１年次生１２人、２年次生７人の合わせて２５人が、５つのグループに分かれて参加しました。このたびは、参加した生徒一人ひとりが事前に**世界をよりよくするために高校生ができること**を考え、それぞれ英語で発表し、互いにディスカッションしました。発表では、**教育や地球温暖化等から課題を発見し、それぞれが考えた解決策を発表**することができました。生徒によっては、**説明用のスライド**をつくり、オンラインで共有しながら説明するなど、様々な工夫がなされていました。台湾の高校生との交流はこれで終了となりますが、本校ではこうした**オンラインによる海外との交流**を、できる限り開催するよう努めています。**英語に興味のある人、将来グローバル人材として活躍したい人**は、積極的に参加しましょう。

最後に参加者で記念撮影　これで楽しかった交流も終了

タブレットを使って、オンラインで台湾の高校生と交流

普通科　は普通科を、　探究科　は探究科を対象としたプログラムです。